



第23回カブト虫相撲大会

7月24日（日）、大崎町総合体育館において第23回カブト虫相撲大会が開催されました。

県内外から約450人の夏休みを迎えた子ども達が自慢のカブト虫を持ち寄り、力くらべや綱渡り、相撲などを繰り広げました。

主催したのは、知的障害者施設を運営する『社会福祉法人愛生会』で、子ども達に自然や生き物とふれあってもらおうと今年で23回目を迎えました。

相撲では、行司の「はっつけよいのこった」

の掛け声で角を突き合わせて、相手を押し出す『突き出し』や『にらみだし』などの技が次々と繰り出されました。

なかでも会場を沸かせたのは、角で相手を持ち上げる『角投げ』で、「なげた！」と会場からは、熱い声援が飛び交いました。

